

# 薩摩の郷中教育と大久保利通

薩摩には郷中教育という先輩が後輩を教え導く薩摩独自の教育がありました。

「郷中」は「郷土の仲間たち」という意味で、鹿児島ではこれを「ごじゅう」教育と呼びます。「長幼の序」を鹿児島では非常に強くいわれますが、それは郷中教育の中で年上の人が学問から遊び、道徳心まですべてのことを教えてくれたからです。つまり先輩を先生とし、年齢が一つでも上であれば敬うことをモットーとしました。

大久保利通は天保元年、一八三〇年生まれ、西郷隆盛よりも三歳下です。そのため生涯、大久保利通は西郷を敬ったといわれています。

## ◇大久保利通の家族

大久保利通の父、利世としよは加治屋町周辺では学者として通っていた琉球館附きの役人でした。母方の祖父は、

皆吉聖徳みなよしよとくという医者です。学者と医者の家系に生まれた大久保利通は四人姉妹にかこまれた一人息子として育ちました。



(鹿児島市高麗町)



座禪石 (鹿児島山城山町)

生まれは高麗町、そこには「大久保利通誕生之地」碑が建っています。そして小さいときに加治屋町に引っ越ししてきました。現在は維新ふるさと館に隣接していますが、ここは「大久保利通生い立ちの地」です。西郷隆盛と大久保利通の家は直線にして五、六〇メートルの距離です。大久保利通の父の知り合いに島津家の菩提寺「福昌寺」の住職をした無参禅師むさんぜんじという非常に優れたお坊さんがいました。西郷や大久保はこの無参禅師から若いとき、座禅を習い、二人は切磋琢磨しながら青少年時代を送りました。聖光寺跡には二人が座禅修行を行った座禅石が残っています。

その後、父は長田町にあった「琉球館」の役所勤めをしたため、その時に大久保家も琉球館のあるところに移ったといわれます。しかし、日記などを見ると、家は引越したけれど、やっぱり友人との交わり場所は加治屋町だった、というふうになっています。

大久保利通の祖先のお墓は鹿児島市から少し離れた市来にあります。昔、薩摩藩には鹿児島城下の下級武士の人たちも生活が苦しいと地方に行って財を成し、帰ってくるのが許される、救済措置がありました。それで一時期、大久保家は市来中宿にいました。大久保利通のお墓は東京、青山墓地にあります。現在でも大久保家のご子孫の方は鹿児島に帰ってこられたときには市来の祖先のお墓にお参りされるということなのです。

## ◇お由羅騒動が与えた影響く助け合う心

薩摩ではお由羅騒動という、島津斉彬と弟の久光、この二人が藩主の座を争うお家騒動がありました。斉彬の母親は鳥取池田藩主の娘で正室弥姫、久光の母親は側室のお由羅という人です。藩主斉興は側室のお由羅を大変可愛がり本来は長男の斉彬が藩主になるべきであるのに、側室お由羅の子である久光を藩主にするのではないかとの疑念を人々に抱かせました。また、斉彬の男の子は六人のうち、斉彬が生きている間に五人とも死んでしまったことから、これはお由羅が呪い殺しているんだというような噂も広がりました。そこで斉彬を推す家来たちがお由羅を暗殺しようとか、父の斉興に早く隠居してもらって、斉彬を早く藩主にしようとかという考えが一派に広がったため、藩主斉興はこの斉彬一派を切腹、遠島など五十人ほど厳しく処分しました。



島津 久光

あかやまゆきえ

西郷の父は日置島津家の御用達もやっており、日置家の次男家の赤山鞞負も切腹となりました。その切腹のときの血染めの赤い着物を西郷のお父さんが持って帰ってきて、そして「島津斉彬、この殿様のために後を頼むぞ」と、西郷や大久保に遺言をしました。



島津 斉彬

また、このお家騒動に大久保利通のお父さんも関わり、大久保の父は遠島になりました。しかも遠島になった時、大久保利通はようやく就職したばかりでした。昔は家族の誰かが罰せられると、一族郎党まで処分されました。そのため大久保は就職したばかりでしたが、謹慎処分を受けました。早い話、職を失ったのです。そのため食べる糧がなくなりました。大久保家の生活は大変苦しくなりました。大久保家が当時借金した証文がい

まも現存しています。そういう時に西郷は大久保家に行って、いろいろ面倒をみました。西郷は自分の家も大変だったけれど互いに助け合い、大久保利通も西郷の家でご飯を食べたこともあったといえます。大久保と西郷は兄弟のような生活をしたといわれるのは、そういうことがあったからです。

この加治屋町というところは七〇数軒の下級武士が住んでいたところです。西郷、大久保に限らず、切磋琢磨するというその逞しさを持ち合わせていたというのが郷中教育の良さで、なにか困ったら郷中みんなで話し合い、助け合う、非常に先輩と後輩の間柄でも絆が強かったといわれます。大久保、西郷というこの二人はその後も苦しい、困難な人生を歩き続けますが、明治になってこの二人は袂を分かつということになるわけです。